

平成28年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コース B 日程入学試験

民事系科目

時 間 13:00～15:00

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で5枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～5の5つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、120分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の5問、問題1から問題5にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

問題1

無権代理と表見代理の違いについて、具体例を挙げて説明しなさい。

問題2

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

【事実関係】

Xは、平日は自らの子Aを保育所に預けながら仕事を行う一方、日曜・休日は自らがAの面倒を見ていた。ある日曜日、出勤をしなければならない事情が生じたXは、保育所が閉所しているために、ベビーシッターYに、所定の保育料を支払って保育サービスを受けることを申込み、Yはこれを承諾した。この契約の際、Xは、Yに対して、Aはテレビのリモコンを振り回して遊ぶ癖があること、およびAが自分にリモコンをぶつけて怪我をしたことがあることをそれぞれ説明したうえで、テレビのリモコンをAの手の届かないところに置くようにしてもらいたいと特に依頼し、Yもそれを了承していた。しかし、YはAを預かっている間に、テレビのリモコンをAの手の届くところに置いてしまっていた。そのテレビのリモコンを手にとったAは、それを振り回し、自らにそれをぶつけて怪我をしてしまった。Xは、Aの治療費として5000円を支出することとなった。

〔設問〕

Xは、保育サービスの提供契約を準委任契約と構成した上で、民法415条に基づく債務不履行責任をYに対して請求することとした。この請求が認められるかを、損害賠償の範囲も含めて論じなさい。

問題 3

民法の相続欠格及び相続人の廃除について、説明しなさい。

問題4

新株発行等の不存在の確認の訴えにおいて、株式会社の成立後における株式の発行が不存在となる事由について、会社法上の問題を論じなさい。

問題 5

弁論準備手続について、準備的口頭弁論と異なる点を説明しなさい。